



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

掲示板法話

無縁社会の今こそ 仏縁の絆を

去る一月末に放送されたNHKスペシャル「無縁社会〜無縁死・3万2千人の衝撃〜」という番組をご覧になりましたか？寒中のせいかもしれませんが、見終わって、私は重苦しさで寒々とした気持ちになりました。

無縁社会というのは、故郷との絆、地縁、家族との絆、血縁、会社との絆、社縁を失い、社会との接点を失う人が急増していることから生まれた新語です。NHKが全国1783の自治体に調査した結果、二〇〇八年に身元不明の遺体、親族の遺体引取り拒否の遺体など国の統計上現れてこない「無縁死」が3万2千人に上っているという衝撃的な実態を知りました。誰にも知られずに亡くなり、引き取り手もないまま火葬される人が増えているのです。これは同時に、独居の人たちにも訪れるかもしれない未来の姿として、大きな不安の影を投げかけていることとなります。

山田洋次監督の映画「おとうと」は、このような時代に一筋の光明と温かさを感じさせる映画です。

主人公は、東京の商店街で薬局を営み、娘と義母の三人で暮らしている吟子(吉永小百合)と役者を夢見て破天荒

な暮らしをしている弟・鉄郎(笑福亭鶴瓶)。娘の披露宴に酔っ払って台無しにされたり、多額の借金返済を肩代わりさせられて、娘や姑から疎んじられる。それでも尚、捨てておけない吟子の元に大阪の施設「みどりのいえ」から鉄郎が重体という知らせが入り、最期の看取りをする。そんな母に心動かされた娘も婚約者と共に、深夜高速を飛ばして大阪に駆けつけて、毛嫌いしていたおじの最期を母と共に見守るというシナリオです。施設の人たちが臨終の鉄郎に対して礼を言い、温かい最後の言葉をかける情景に心打たれました。

なぜ、無縁社会化が進んでいるのか？「迷惑をかけたくない」というがちがちの自己責任主義が現代日本の血縁や地縁を希薄にさせているのではないのでしょうか。山田洋次監督も「人間関係はわずらわしい一面があるけれど、なしには生きられない大切なものだ」と感想を述べています。お寺は本来地縁、血縁の結節点でした。檀家という枠組みを超える柔軟な「仏縁」の絆を再構築する努力をしなければならぬと思います。仏さまとは「摂取して捨てない」大悲の活動体なのです。この映画を見

★川畑トキエ様(二月二日亡・七十八歳・小杉)
お悔やみ申し上げます



2冊目の共著本「鳥の眼虫の眼仏の眼」完成!

て、吟子(吉永小百合)の姿に観音様のような慈悲を秘かに感じた次第です。

朝日に照らされて笑顔輝くお参りの人々(1月16日撮影)



2010.1.16撮影 観音堂前、お参りの人々、お寺の境内

☆行事ご案内☆

春季永代経 ※講師 尾崎裕正先生・奈良

3月20日(土)・21日(日)・両日午後1時半

お経開きは20日(土)午前10時半より
20日(土)夜は三全仏婦総会(光念寺様)の為、夜の法座なし

♪三重組コーラス♪

3月から5月までの3回、午後1時半・智積西勝寺様で合同練習
3/9(火)、4/7(水)、5/6(木)、車に分乗で参加、1時小杉苑
☆四日市文化会館特別練習6/8(火)午後1時半、6/25(土)夜
予定4/25愛知県体育館お持ち受け、5/20三重組仏婦総会、
6/27四日市文化会館三重組お持ち受け、7/7名古屋別院音楽祭、
2010年前半は大行事満載、※陽光苑慰問は3/12(金)、
ハーモニカ、フラダンスの方に協力依頼。

◇キッズサンガ

※3/13(土)午後4時。卒業式、表彰式お友達誘ってどうぞ
※毎日夕方5時鐘撞きは誰でもOK 飴・ガム付。年中無休

◇予告

※三重組十三日講 3/13(土)正久寺様
※20日夜は三全仏婦総会(光念寺様)、
※初参式4月17日(土)午後1時半、赤ちゃん大募集!1千円

◇一縁会テレホン法話059-354-14543分間法話聞けます
善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索、「つれづれ日記」が好評
住職と坊守の2冊目共著本「鳥の眼虫の眼仏の眼」発売中



坊守スケッチ

あなたは信じられる人がいますか？



夕食の準備をしている時、電話のベルが鳴った。「もしもし、こちらは名古屋国税局納税センターの者です。ご主人はいますか？」という女性の声。エツ！私は税務署とか警察、役所とつく硬い所は大の苦手。「留守ですが、要件を伝えます」と言う。「本人でないダメです」。「ケータイに連絡を取りますので、後ほどお電話を下さい」と受話器を置いた。先ずかかりつけの税理士さんに電話をした。「そんな所聞いたことがありません。振り込め詐欺ではありませんか？」と言われた途端、目の前の霧が晴れたような気持ちになった。再び電話が鳴った。「いつになったら連絡取れますか？大事な税金の話です。今度は落ち着いて、あなたの住所、電話番号、お名前を教えてください。こちらから電話します」。

「と皆さんの方が知識豊富。私は以前にも丁国人事院という名簿会社の葉書に「不要」の返信葉書を出した時、裏に小さい字で来年以降不要で今年購入のインチキを見落とし、20万円要求された苦い経験がある。消費生活センターに相談をして難を逃れたが、現在は「人を騙してお金を儲けよう」という輩で溢れている。この話を中学生にした。日頃私は彼等に「信じる者は救われる」と教えている。「だからオバサンは騙しやすい。特にお寺の間は世間知らずだから、人を疑うことを知らない。気をつけなよ」と一笑いされた。彼等は自分のケータイやパソコンにロックをかけて、誰も覗き見ることが出来ず、親でさえ信用していない。

先日 小説『親鸞』（五木寛之著上下二巻）を読んだ。私が一番感動した部分は、親鸞聖人と師である法然上人の信頼関係。親鸞は「信じる」というのは、はっきりした証拠を見せられて信じるのではなく、師の言葉を信じる。たとえ騙されようとも後悔しない。「何故それほどまでに法然を信じるのだ？」と聞かれると「法然上人が私を信じて下さるから、ついてゆくだけ」と応えた。この話を日本の政治家達に聞かせてやりたい。いや、他人事ではない。家族や友達と信じあえる関

係を築いているかを反省し、私自身も他人から信じられる人間になりたい。人生で信じる事が出来る師と友を持つことが一番の財産！信じる人は、逆境の暗闇の中でも光を見つけ、強く生き抜くパワーを持っていると思う。

ト三重組コーラス♪

- ☆陽光苑三月十二日(金)三十七回目
- 《智積西勝寺様での合同練習4回》
- ※3月9日(火)午後1時半
- ※4月7日(水)午後1時半
- ※5月6日(木)午後1時半



《四日市文化会館で合同練習》

- 6月8日(火)午後1時半第3練習室
- 6月26日(土)夜7時直前リハーサル
- 《平成二十二年度前半コーラス行事》
- ☆四月二十五日(日)東海教区お持ち受け法要・愛知県体育館・組曲正信偈
- ☆五月二十日(木)午後、三重組仏婦總會(下海老明林寺)音楽法要
- ☆六月二十七日(日)三重組お持ち受け法要・四日市文化会館・音楽法要、「しんらんさま」念仏

- ☆7月7日(水)名古屋別院音楽祭
- ※七月三十一日(土)夜から小杉練習が従来通り毎月最終土曜日夜あります。
- ※2010御堂演奏会楽譜CD入荷。2100円。今年も11/22京都西本願寺「御堂演奏会」8回目の出演予定。

- キッズサンガ・杉の子合唱団
- ◇三月十三日午後四時より。卒業式と表彰式、お友達誘って来てね！夕方五時の鐘撞きは毎日。

☆ホットニュース☆

☆住職と坊守の2冊目の共著本「鳥の眼・虫の眼・仏の眼」(自照社刊)二月下旬いよいよ発売開始！挿絵は門徒の服部雅之氏(特別割引価格千円で販売) ☆二月十三日未明、ドロボーが庫裡ガラス戸のカギを壊して侵入。現金を抜き取った財布他、本堂南境内に散乱。南隣の家も侵入。最近この地区にドロボー被害続出と警察よりの警告。ご用心！

☆善正寺のホームページ、「三重善正寺」で検索可。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設一年七ヶ月で一万七千以上アクセス達成！

☆寄稿

四日市市 釈 厚 謙
 ☆二人で創りし 我が家庭
 今は一ダース越え 鍋も賑やか
 ☆トラ年が明け ビンゴゲームで 福もおおせい

四日市市 釈 弘 蓮
 ☆忍土を生きて 浄土に帰る
 浄土は楽し 忍土も楽し

四日市市 川 崎 孝一
 ☆脈脈と血の繋がりに めでたきぞ
 ひばり百の忌 朱熹灯さむ
 ☆「のりたいな」暫し童に 振り返る
 ラッピングバス カラフル極む

☆ 編集子より ☆
 「善正寺だより」第一九五号をお届けします。◇一月は行く、二月は逃げる」といふ通り、早くも弥生・三月。お彼岸も近づき季節、静かに彼岸からの呼び声に耳澄ます時を持ちたい。合掌。

枯枝の先に小さなつぼみをつけてじと寒さに耐えながら出
番を待っている木々達に励まされる昨今、お元気ですか。刻
一刻と日の出も早まり春はもうそこまで来ています。先日
「おとう」という映画を観ました。小さな薬局を営みなが
ら一人娘を育てる姉吟子に吉永小百合、大酒飲みで何と
しても失敗ばかりの大衆芸人崩れの弟鉄郎に笑福亭龍瓶、
山田洋次監督がメガホンを取った笑いあり涙ありの感動作です。
人生の負け組の弟はホームレスになり行き倒れて最後は看取
の家に引き取られます。心優しい姉は見捨てることなく最
期を見送ります。山田監督が許えたかったことは「弱者の
視点」ではないでしょうか。人生負け組のおとうとでも生きる
値打ちがある。勝ち組の人達は、この人達を踏み台にするの
ではなく寄り添う姿勢が大事。そこに人間の温かい情愛
が流れ、弱者でも生き易い社会になるといふことです。三重
組コーラスの音楽法要で和讃を歌っていた時のことです。
「親鸞さまも弱者の視点に立たれた方だ」と気づきました。
社会の底辺で苦しむ人々に、今を漢文ばかりのお経を、
ひらがな混りの五調の歌声に乗せて、念仏の飲びを私達に
教えて下さったのです。この度のご法要で親鸞尊の願いと
お心をしっかり味わいたいです。三月は二十三日(三)永代経
二十三日夜は三全仏婦總會(光念寺)、三重組コーラスは
九(火)午後西勝寺林で合同練習、また二十三日午後初参式の
赤らさん大募集中です。各地でお待ち受け法要や大きな
行事が続きます。皆様のご協力よろしくお願ひします。
平成二十二年三月 合掌 善正寺坊守 拜